

地質ニュース

昭和 54 年 2 月 第 294 号 1979

解 説	共水性ガスとその鉱床(その1)	福 田 理	1
トピックス	東海地域における地震予知のための地下水 観測井の増設について	加藤 藤 完 村 下 敏 池 野 喜 井 盛	16
	伊豆半島東部における水位・湧出量観測と地震 前後の水位等の変動	岸 和 男	23
	サンゴ礁と石灰岩(3)	大 山 桂	30
	室戸半島層群および同相当層から始新世化石の 発見とその意義	甲 藤 次 郎 松 丸 国 尚 岡 平 朝 平 武 彦	41
	電卓シリーズ(7) 鉱物結晶構造の作図	金 沢 康 夫	44
海外事情	中近東フィールド・ノート④ アラビア半島の新生代火山岩類	高 橋 清	50
	福島県郡山盆地水理地質図	森 池 田 和 雄 喜 代 治	64
地学と切手	ニカラグアのサン・クリストバル火山	P. Q.	43

編 集 地質調査所

表紙の写真

インド・デカン玄武岩台地

50万km² つまり日本の1.5倍ほどの 大量の噴出物でおおわれた面積をしめるデカン・トラップスの断面をみることは なかなかむづかしい。この写真は ポンベイと Ajanta, Ellora Caves (洞窟遺跡) で有名なオーランガバッドとの中間点における Indian Airlines の機内から眺めたもので 高度約 3,500m。印・日国際共同研究の現地調査でのスナップで 縞模様は熔岩の flow-unit に相当し 厚さは平均約25m。この浸蝕谷と崖の高さは1,000mにも達する。火砕岩類は極めて少なく この広大な熔岩類の分布と累積には それに相応する盆地構造がなければならない。玄武岩の一種 ソレライトの大量な噴出→アルカリ岩系の少量の噴出 それに伴う規則的な組成の変化 比較的短時間内での大規模な噴火様式 浅所にあったマグマ溜 これらが 60~65m.y. 前に インド亜大陸が南緯 30° あたりを移動していた時期のできごとである。台地表面に特徴的な 赤レンガ色のラテライトの生成条件は その後の低緯度地域通過をいみするのであろうか。

(文・写真:倉沢 一)

発 行 株式会社 実業公報社